



明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー

生産

【資料名】 踏臼(ふみうす)

【年代・来歴】 江戸期

【寸法】 全長 290cm 横棹 250cm(10cm角) 全高 153cm
(杵)直径 10cm 長さ 67cm

【材質】 木製

【保存状態】 概ね良好

【画像 全体】



【画像 臼部】



【略説明】

足踏み式の精米装置。体を踏台の上に置き、横棹の端を片足で踏み体重を掛けることで杵を持ち上げ、落ちる力で穀類の皮を剥いた。「からうす」とも呼ばれる。

【画像 踏台部】



【注記】

所蔵元である静岡県農林技術研究所では農業資料館展示室を併設している。そこでは江戸時代から昭和にかけて県内で実際に使用されていた農具、民具、生活用品のほか農業に関する史料などを多数収集・展示しており、無料で見学することができる。

【所蔵機関】

静岡県農林技術研究所農業資料館展示室

【住所】

静岡県磐田市富丘678-1

【連絡先電話番号】

0538-36-1553

【所蔵URL】

<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/>

【閲覧】

常設展示(入館無料)

開館時間: 平日9時~16時30分まで。

休館日 : 土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日、及び年末年始(12月28日~1月4日)